

建設産業常任委員会会議記録

- 1 日 時 令和8年5月19日（火曜日） 午前10時00分開会 午後1時50分散会
- 2 場 所 第二委員会室
- 3 出席委員 宮島、加藤、松田、利根川、和泉、田原（実）の各委員
- 4 委員外議員 古畑議長、池田、渡辺、関原、田原（洋）、阿部、保坂の各議員
- 5 説明員 久保田市長、井川副市長、猪又政策監（渉外担当）、嶋田政策監（特命担当）
長崎都市建設課長、伊井同課長補佐、高畑同係長、飯塚主査
小林観光課長、関澤同課長補佐、石崎同係長、井伊同係長
- 6 事務局職員 磯貝事務局長、山本主査
- 7 本日の会議に付した事件
 - （1）中心市街地活性化について
 - ・糸魚川市駅北広場「キターレ」 備品調査について
 - （2）その他
 - ・市外調査について
- 8 経過と結果

○宮島委員長

おはようございます。

9時からの現地視察お疲れ様でした。

ただいまから、建設産業常任委員会を開会いたします。

欠席通告委員はありません。定足数に達しておりますので、直ちに会議に入ります。

審査の順序につきましては、タブレットに掲載及び配付した協議題日程により進めます。

なお、委員外議員の発言につきましては、先例申合せのとおり、委員の発言終了後、申出があれば休憩を取りますので発言の許可を求めてください。

糸魚川市駅北広場「キターレ」 備品調査について

○宮島委員長

これより、協議題 1、中心市街地活性化について、所管事項調査を行います。

糸魚川市駅北広場「キターレ」備品調査についてを議題といたします。

担当課からの説明を求めます。

○長崎課長

おはようございます。

先ほどは、現地調査ありがとうございました。現場では、事前に厨房機器の更新をお伝えせず、大変申し訳ございませんでした。

それでは、お手元に配付の資料No. 1をお願いします。糸魚川市駅北広場キターレ備品調査について説明いたします。

キターレは、令和 2 年 4 月に開館し、令和 8 年 4 月で 7 年目を迎えました。当初は、10 年目を目安として厨房機器を更新する計画としておりました。しかしながら、10 年目に一括して更新を行う場合、財政負担が一時期に集中することから、負担の平準化及び機器停止リスクの低減を目的として、更新時期を前倒しし、令和 8 年から 10 年までの 3 か年で計画的に更新を進める方針としておりました。そのような中、令和 8 年度予算審査特別委員会において、厨房機器の更新が早いのではないかと、どのような判断で入替えになったのか等のご意見をいただき、改めてメーカーによる点検及び機器状況の精査を実施しました。

1、備品設置の経過

2、厨房備品の配置図については、資料記載のとおりでございます。

2 ページ目の A 3 判資料につきましては、これまでの厨房機器の修繕状況と点検結果を明記したものです。

冷蔵庫、冷凍冷蔵庫につきましては、令和 7 年度に発生した庫内の水溜りができる現象は、パネル同士を繋ぐパッキンの経年劣化により破損し、コンプレッサーと庫側パネルとの温度差で発生した結露水が漏れてきたため、との見解で、シーリングによる修繕を行い、水漏れはなくなりました。令和 8 年度に、メーカーによる点検を行ったところ、扉内側のパッキンについて、汚れ及び劣化による断裂が確認されました。また、コンデンサー部の熱交換を行うラジエーターにほこりが付着し、目詰まりが生じており、洗浄が必要な状況です。

食器洗浄機につきましては、厨房 1 に共通して、すすぎ用の温水を作り、溜める貯湯タンクとセンサーに石灰の付着が認められました。そのほか、厨房 1 では、プラスチック部品にひび割れが確認され、厨房 2 では、貯湯タンク内の電熱ヒーターの一部にも石灰の付着が認められました。メーカーの見解では、ひび割れが発生したプラスチック部品については、交換が必要とのことでした。また、センサーについては、その場で清掃を実施しましたが、タンク内の石灰については、投入口が指が入る程度の大きさしかなく、板状に付着した石灰をかき出すことや、薬剤で溶解除去することは困難とのことでした。石灰については、電熱ヒーターに多量に付着すると故障の原因となるものの、直ちに故障に至る可能性は低いことから、経過観察いたします。

製氷機につきましては、扉内側のパッキンの汚れ、コンデンサー部のラジエーターの目詰まり並びにバネの折れが確認されました。コンデンサー部は洗浄が、パッキン・バネについては交換が必要とのことでした。

以上、点検の結果、現時点では厨房機器を喫緊に更新せず、必要な修繕を行い、機器状態を経過観察しながら、更新時期を改めて判断する方針に見直すこととしました。

今後はメーカーによる定期点検を実施し、機器の状態を計画的に確認しながら、必要な修繕を適切に実施することで、設備をより長期間、安全に使用できるよう、維持管理に努めてまいります。

説明は以上です。

○宮島委員長

説明が終わりましたので、直ちに質疑に入ります。

ご質疑はありませんか。

○和泉委員

今、説明、現地でも説明を受けましたが、例えばパッキンとかですね、あるいは石灰が付着するような、それを部分的に改善しながら、延命を図るような方法を取ったわけですけど、それがどれぐらいまで延命できるのかっていうのと、実際に全部取り替えてしまうのとでは、どれぐらいの違いがあるのか、教えてください。

○高畑係長

部品取替えっていうのは、消耗品であったり、水質によって、状況は変わりますので、一概にメーカーの方から、どれくらい持つんだっていうのは、なかなかお答えできないっていうところでした。新品に入れ替えたとしても、それは一緒のことなので、いずれにしても、どれくらい持つんでしょうかっていう答えについては、メーカーから明確な答えってのは、いかなかったです。

○和泉委員

じゃあ、まあ様子見という形での対応ということで、理解してよろしいですか。

○高畑係長

和泉議員おっしゃるとおりで、様子を見るというやり方しかないです。ただ、定期的に点検をしないと、様子っていうのは分からないので、今後は定期的な点検を行いたいと考えております。

○和泉委員

特に石灰の付着については、メーカーさんよりも、地元糸魚川の方のほうが、特に糸魚川市街地で住んでられる方のほうが、例えばコーヒーメーカー使ってられる方は、すごい細い管なので、石灰が付着しやすく、すぐ交換しなきゃいけないっていうのを、多分、中心の方々は身をもって経験してると思うんですけど、やっぱ導入する際に、そういうような障害っていうか、弊害があるのかどうかっていうのも念頭に置かれて、食洗器設置されたんでしょうか。

○高畑係長

機器の選定について、石灰、要は糸魚川特有のことについてなんですけども、検討したかっていう記録は特に残っておらず、私も当時、工事に関わっておったんですけども、そこについては、配慮が足りなかったと考えております。

○和泉委員

そういうことが想定されるのであれば、今後も、やはりより良いものを導入するというか、対応をお願いしたいというふうに思います。

あと、直接厨房に入らせてもらいましたが、例えば清掃しましたとか、そういうような点

検の表っていうのが、食品関係だから貼れないのかどうか分かんないですけど、何時・何分に誰々が清掃しましたとか、チェックしましたというような、そういう点検表みたいなのが貼ってないんですけど、そういうのを順次やっていけば、劣化しているところとかそういうのが、すぐ担当に上がってくるかと思うんですけど、そういう対応については、どういうふうに対応されているんでしょうか。

○飯塚主査

指定管理者のほうで、点検を委託してやっていただいております。その中で、冷蔵庫の点検ですとかを目視で行っております。目視で点検して、異常がないかどうかということを点検していただいているんですが、点検結果は、指定管理者のほうで管理しております。その場には貼り付けせずに、別の場所で保管して対応しております。

○長崎課長

補足になりますけども、今ほど説明あったとおり、そういった形で点検はしていたんですけども、確かに、見える化といいますか、どのようにやったかということが、今回の事案に基づいて、必要かと思いますので、今後はどういう見える化っていうのは、貼付けも踏まえてですね、清掃といいますか、私どもも指定管理者のほうとタイアップする必要があるかと思しますので、そのやり方については、今後検討してまいります。

○和泉委員

今、見える化っていう言葉ありましたけど、やはり見える化は大事だと思います。ただ、厨房の中にはお客さんが入らないので、別にお客さん用ってことではないんですけど、そこで従事されている方とか、その施設の担当者が、やはり、見える形で確認できるような、そういうシステムを導入してもらったほうがいいかなというふうに思います。

例えば、高速道路とか、国道のトイレも、何時・何分に誰々が清掃しましたっていうような表が貼られていて、ドライバーさんとかお客さんは、多分見ないと思うんですけど、でも、やっぱり目に入るので、順次、清掃やっているんだなっていうのを目視することができますので、やはり実際に従事されている方も意識付けとして、そういうチェック表というか、そういうの見える形で対応していただければというふうに思いますが。

○宮島委員長

意見で。

〔「うん」と呼ぶ者あり〕

○利根川委員

先ほど、課長のほうから、定期的なメーカーによる点検が必要ということ言われたんですけど、繁盛期以外、冬場ですね、メーカーさん、またそこに入っている方の忙しくないときに、必ず年1回は、メーカーによる点検が必要だというふうに思っております。

それから、温度管理表っていう形で、機器の温度表示がされますけど、その近くに、必ず温度管理表という形で、毎日チェックするようなあれが、食品衛生法みたいな感じでなっております。

それから、清掃チェック表、要はフィルターを清掃しましたよ、いついつか清掃しましたよとか、ホコリ、また、製氷機の下の部分を掃除しましたよとか、そういう清掃のチェック表というものもありますんで、それもやっぱり近くに置く必要があるというふうに思います。管理者が保管しているっていうあれなんですけど、その温度表示、またその機器の近くに、表示が

ないと、チェック表がないと、全然意味がありませんので、それで、そこで使ってる方も常時入れ替わりするものですから、なおさら必要だというふうに思いますので、その辺のほうよろしくをお願いします。

それから、同じく指定管理でも、やっている方、糸魚川市内でおられますが、食品を扱っている方もやっぱり同様な管理が必要なんで、その辺もう1回点検が必要だというふうに思いますので、よろしくお願いします。これについていかがでしょうか。

○長崎課長

ご指摘ありがとうございます。先ほどの、和泉議員の質問同様、やはり今回ですね、維持管理ということで、いろいろ私ども課題等見つかりましたので、今ほどご提案ありました温度管理表とか、あとは、毎日のチェックですね、こういう部分につきましても、どうしてあればいいか、ほかの指定管理ともいろいろ参考にしなきゃいけないかと思えますけども、今後の維持管理の徹底を含めて、そういったものを強く進めていきたいと思えます。

○利根川委員

最終的には、これは今回の予算で上がってきた300何万円という形で、上げてきた内容とは別に、修繕で改善できるって形で、理解してよろしいんでしょうか。

○高畑係長

今の質問にお答えします。修繕のほうで機能が改善されて、使えるということで問題ないです。

○利根川委員

そのときに見積もり等は、もう取っておられますか。

○高畑係長

概算ですけれども、およそ40万円から30万円ほどかかるというふうに把握しております。

○田原委員

伺います。二つ、私、今回聞きたいことがあるんですけど、まず一つは、ハード面のことなんです。それで厨房機器ですね、三つの厨房があって、同じようなものが入っています。それで、社会実験的にここの所をまずやってみましょう、と言ったその取組は、アイデアは、とてもいいんですけども、その後の管理ということになると、まずは駅北のキターレの管理は、イールーさん、指定業者さんをお願いして、そこがさらに管理業者さんに委託をしていると、二幸産業さんとか、あるいはグリストラップは信越環境サービスさんといったところなんですけれども、今回ここで取り上げているところの厨房機器に関しては、これはどういう形になっているんですかね。メーカーの点検というような言葉が、先ほどから出ていますけども、そのメーカーが、直接何か点検するんですか。それとも納品した代理店が、点検をするのかね、それもね、地元の設置した業者もいると思うんですよ。そういった流れの中で、どこがこの品質に対しての保証していくというか、責任を持つかっていったところが、大事だと思うんですけど、ちょっと説明していただけますか。

○高畑係長

厨房機器の点検ってということについては、指定管理者のイールーが、まず第1にあるんですけども、そこから厨房機器の直接の管理を糸魚川二幸株式会社に、さらにそこからイールーから出しております、そこが点検をしております。

○田原委員

いや、違う、違う。今回対象になっているやつは、どうなんだって、そうだね。

○高畑係長

厨房の冷蔵庫とか、類の話ですけども、これの点検をしているのが、糸魚川二幸株式会社となっておりまして、通常の、いわゆる点検っていうのを、そこでやっております。今回、今年に入って、メーカーを呼んできたっていうのは、通常の業務、中には入っていない業務です。

○田原委員

予算特別委員会終わっているんで、蒸し返してもしょうがないかもしれませんが、これ、誰が入替えをしましょうって言出したんですか。

〔「前任者連れてこい。前任者。」と呼ぶ者あり〕

○長崎課長

予算審査の前に、入替えっていいですか、更新する話は課内のほうで、いろいろ今後のですね、要はそういった機器の更新計画といいですか、そういうものを加味した上で、今日は先ほども申したんですけども、いちどきには、財政が圧迫しないようにということで、計画的に、庁内っていいですか、課内のほうでですね、更新を上げるということで、予算委員会のほうに上げさせていただきました。

○田原委員

公共建築の維持管理については、大きな課題になっていますよね。相対的な話じゃなくて、ここは本当に部分的な話かもしれないけど、あるものをいかに長く使っていくかっていうことから、まず、考えなくちゃいけないのを、どうしてすぐに入替えって話になったのかっていうね。そこをちょっと指摘をしておきたいと思います。

次、伺いたいのは、フクシマガリレイというメーカー、それからタニコーというメーカーですね、あります。タニコーってのは、私も聞いたことがあるんで、私らホシザキとかですね、そういった名前は聞いたりするんだけど、このフクシマガリレイっていうのは、これはよく用いられているメーカーなのか、日本のメーカーなのか、そうじゃないのか、そういったところをちょっと教えてもらえますか。

○高畑係長

フクシマガリレイっていう会社は、日本のメーカーでして、本社は確か大阪だったかと思います。日本においてメジャーなのかどうかって言いますと、ホシザキとかタニコーっていった会社に比べると、一般の方には聞き馴染みがないかと思いますが、専門業界においては、そんなに、知らないよっていうわけの話ではなくて、まあまあ大きい会社ですので、メジャーかと私は存じております。

○田原委員

やっぱり公共施設で長く使っていくためには、故障が起きにくいメーカー品ってよく言いますよね、メーカー品ってね。そういったものであれば、もっと長く使えるんじゃないかって、ふと思ったりするんですよ。それで今日聞いているんですけども、このキターレはですね、建設のときからいろいろ問題ありましたよね。予算が合わないからって言って、建物の構造規模をみんな変えた、そういう物件なんですよ。だからね、ここの厨房機器においてもですよ、当初考えられていたものよりも、ランクが下がって安いものになったがゆえにね、こういう事態になっているんじゃないか、ってことを私懸念するんですよ。そうじゃないって、ね、そうじ

やないですと、納品してもらおうというか、要するに発注をかけた段階から、問題ないかっていうことを、皆さんがどれだけ確認されたかなってことを、改めて問いたいですね。いかがですか。

○高畑係長

工事の発注の性格上、いわゆる設計書の能力ですね、それを達していれば、なかなか、これは駄目だよってというのは、いずれ、協議の中で、でしかできないんですけども。そういうところで、なかなか、アフターサービスの面にまでにおいてを、選定を、ができれば一番良かったんですけど、そこまで配慮がちょっと行き届かなかったかなあと、ちょっと今反省しております。

○田原委員

反省っていうよりも、仕事として当然やっておくべきことを、私指摘をさせていただいているんで、何も高畑さんが、ここで反省する必要はないんですよ。でも、やっぱりこういう事態になってくると、何だ5年ちょっとで壊れるんかいと、ね、それから、この土地柄にあったものの、機種選定のところだって、何か、まあまあのところでやってしまったのかなっていうことです。

だから、上代と実際の納品の価格差っていうのがあって、やっぱり一流メーカーっていうのは、上代に近い形で納品されるから、それだけ社会的な責任を背負っていると、うちの製品っていうのは故障しづらいですとか、あるいはメンテしかりしますよっていう、そういうものを持っているから、そうなんですよね。

だけど、そうじゃないとこっていうのは、故障すれば、買い換えてもらえばいいですよといったところもないとは言えないんですよ。そういう懸念が、今回出てきたから、これから入れ替えるにしてもですよ、同じメーカーでいいんですかと、同じ形の納品でいいんですかと、改めて3者から見積もり取って、ここであつたならば、間違いないね、っていうことをもう1回確認すべきじゃないかという、そういったところを、今、私問うているわけなんですけど、いかがですか。

○長崎課長

田原議員言われたとおりですね、やはり厨房機器といいますか、物につきましては、やっぱりあるものを長く使うっていうことが重要だという認識でおります。当然、故障が起きにくい形で、維持管理に努めなきゃいけないということでございますので、今回こういった事案発生しましたし、今あるものを延命させながら、工事のほう進めていく必要があるかと思っておりますので、メーカーともいろいろ研究させていただきまして、今、ご提案ありましており、やはり次の更新するときは、メーカーはどういう機種があるかとか、いろいろそういったものを見極めつつ、今後、修繕を施しながら、更新に結びつけたいと考えております。

○田原委員

課長ありがとうございました。よろしくお願いします。

それで、今回は協議題が「中心市街地の活性化について」なんですよ。それで、キターレということで、取り扱わせていただいているんですけども、キターレの元々のその設置の目的というのは、賑わいを作りたいということ、あれ最初、賑わい広場っていう名前だったんですよ。それが何か、いつの間にか賑わいが消えちゃって、駅北広場とか、駅北キターレになっていったっていうことがあって、なんかね、どうなんでしょう。

市内から市外から目的を持って街に人が集う。糸魚川に魅力を感じた人たちが、たくさん訪れている。駅に降り立った人たちが、まちなかを回遊している。住民同士の結びつきが強く、たとえ一人でいても寂しくない、街の環境整備が行われ、利用されているというところの一番のシンボリックな施設がキターレなんです。そういったもののために、担当課としては、今の指定管理者とどんな話をされてきましたかね、あるいはこの先どのようにしていくかっていう話はされていますか。

○長崎課長

今ほどお話あったとおり、賑わいの広場っていうことで、位置付けあったんですけども、当然、今年で開設して7年目を迎えるんですけども、我々も指定管理者のほうと、定期的にいろいろお話をほうをさせていただいているところでございますけども、今回こういった厨房機器とかの件で、いろいろな課題等もありましたし、今後はもう少しちょっとその会話の範囲といえますか、そういうものを広めて、より指定管理者と密に連携を図りながら、要は、環境は継続させていきたいと考えております。

○田原委員

この先もね、維持管理にお金がかかる施設だってことは言うまでもないんですよ。特にこの水回りの機器っていうのはお金がかかりますでしょ。だから当初の目的を達したのであれば、それはそれを継続してやっていくために、今のこの設備をですね、再度更新してやることは、私はいいと思うけど、たまのお客さんのためにこれだけ備えてですね、考えは良かったけども、実際はそうはならなかったね、って話になると、どこかで何かをやめていくということも考えていく必要があるんじゃないかと思うんです。

これはやはり、駅北キターレが賑わいの拠点となっていますかと、先ほど私申し上げました賑わいの定義どおりのものになっていかなければ、指定管理の形も含めて、もう1回考え直すべきだと、このように思いまして、今日はその点、指摘だけで終わらせていただきたいと思います。

○松田委員

今回のものは、10年目の前倒しの更新という形で、予算組みされているわけですが、今回は修繕でいくということなんです、10年目の更新というのは、その後計画的には実施されるものなのでしょうか。教えてください。

○高畑係長

10年目の入替えっていうのは、なし、ってことになります。修繕を重ねていっても、その修繕では追いつかないよっていう状態になれば、再度、丸ごと入替えっていうような、方針に変えていくという流れです。

○井川副市長

今回の件は、市の内部の予算要求から、査定、そして、議会への予算提案のあり方が問われている案件だというふうに思っています。そういった中で、予算審査特別委員会で皆様からのご指摘をいただく中で、今日またお時間を取っていただいて、現地調査も含めて審査をいただいているわけです。そのことについては、私も反省をしております。

今回のような詳細な点検ですとか、日常の維持管理はしっかりする中で、更新計画を立てていくべきところだったんですが、今回はメーカーからの進言、あるいは前倒しということで、早い更新を予算提案したことについては、少しちょっと手続き的にどうだったかなっていうの

は、私の中でも思うところがございます。今回のことを教訓にして、例えば先ほど田原委員からも、機種選定の指摘ございました。石灰が溜まりやすいといったような機能の構造であればですね、そこを外してしっかり洗浄できるとか、そういったものを機種選定の中で、長く使えるようなものを導入していきたいなというふうに考えております。

今回、厨房や、例えば冷房機器については、壊れてからの修繕ということでは、利用者、それから使用者に迷惑かけることになりますんで、事前の予防保全的な考え方で対応させていただくこともございますが、その際は、議会の皆さんにしっかり理由を説明できるように、これからしてまいりたいと思っています。

なお、今回の件につきましては、備品購入費で予算計上させていただいておりますが、皆さんから、お認めいただければ、修繕費という形で、その予算の範囲内で修繕をさせていただきたく思っております。よろしくお願いいたします。

○加藤副委員長

今ほど、井川副市長おっしゃったとおり、今回の予算計上に至るプロセスが問題なのと、あと一点は、状況判断するためのデータとか、その現状のものが、結局、専門家ではなくて、委託されているんだけど、専門家じゃない人たちが関わる中で、買換えしたほうがいいんじゃないか、っていう流れになっていて、結局、予算委員会での審査があって、初めてメーカーサービスに5月8日に来てもらってこういうことだ、っていう形になっているんで、本来は、この過程が、積算の前であって、そうすれば、今回の判断も多分変わっていたはずだと思うんですけど、やっぱり、その辺のフローが、指定管理者の委託とか、例えば、糸魚川、青海とか、能生事務所とか、各課で、やっぱり実は教育委員会とかでも、違うところが大きな課題だと思うんで、今回、政策監、お二人いらっしゃいますけど、こういう事情から共通の課題を出して、どういうあり方にするかっていうところが、一番今後大事だと思うんで、やっぱりそれぐらい真剣に考えて、今回の、ただ枠内でできればいいということじゃなくて、この小さな課題を、どう行政内の枠組みの中の大きな問題点と捉えるかが、すごく大事だと思うんですが、その点についてはいかがお考えでしょうか。

○嶋田政策監

今ほどの加藤副委員長おっしゃられますとおり、様々な公共施設、また公共施設の備品等もあります。今回は、駅北広場のキターレということでございますが、例えば学校であれば、給食施設だったりということで、それも1分1秒止められないような施設、ほかにも存在しているところがございます。また、病院、診療所も抱えておりますので、どういうふうな考えで、成り立つかと思っております。

そういった中では、やはり限られた予算の中で、そういった備品なり、修繕、工事等いろいろと予算の要求が来ますが、それぞれの際にですね、必要性であるとか、また予算を執行した上での効果、そういったものを十分見極める中で、適正な予算執行、予算要求から始めて、行ってきました、一番避けたいのは、市民生活、市民の安全に不便をかけることですので、それを優先の中で、行政運営のほうを進めてまいりたいというふうに考えております。

○加藤副委員長

あと一点なんですけど、担当課が平準化をするとか、長寿命化するときに、現場でしっかりといろんな情報を上げて、財政全体の中で、長寿命化するか、平準化するかっていう判断があつて、今もうなんか、担当課が平準化ありきでやっていることも、ちょっとおかしいんですよ、

本来、その財政の考え。

それ多分、担当課の予算枠内しか見てないからこそ、そういう判断になるんで、やっぱりそういうことも一つ一つ情報を挙げて、長寿命化、平準化ありきじゃなくて、こういう事象を全部積み上げていって、最終的にはちゃんとした積算根拠的なエビデンスを基に、じゃあどうするかとか、あと財政的に本当に厳しいんだったら、もう全体を見る中で、どこを優先順位つけていって、平準化するのか、長寿命化するのかとか、そういうのを考えなきゃいけないので、そういった意味で今回は、担当課がなぜかな、すごく平準化を意識していて、多分そこは担当課の予算の枠内だけで、その考え方で判断しているのかなと思うんで、そこら辺の、そういったなんですかね、もちろん平準化・長寿命化ありきなんですけど、そこに至るプロセスの考え方を、担当課だけでするのではなく、これも同じ質問になってしまうんですが、政策監も関わって、それこそ財政課がしっかりとコミットする形の、今回、組織改革なっていますけど、やっぱりそういうのをしていかなないと、担当課任せの判断であれば、極小では最適化なんだけど、全体で見ると、結局大きなロスになる場合があるんで、やっぱり最大最適化を考えるような、フローがすごく大事だと思うんで、今回、平準化・長寿命化はいいんですけど、やっぱりそれを担当課に任せすぎると、自分たちの担当課の枠内でしか配慮ができないですし、実際、財政の長期計画なんて、そこを把握されてないと思うんで、そういった財政的な今後のその考え方とか、常にもうお金が足りない、っていう前提で動いているんで、でも今後、国がどんどん補正かけたり、いろんなする中で、財政計画も、今、インフレだって変わってくるんで、やっぱりそういった考え方変えていかなないと、本当に逆に、悪いほう悪いほうとか、コストが安くて済まそうという話になってしまうんで、そういったところも踏まえて、考えていただきたいんですが、その点はいかがでしょうか。

○嶋田政策監

今ほど加藤副委員長おっしゃられますとおり、公共施設であれば、長寿命化計画といったものを持っております、あわせまして財政につきましても、財政計画ってものを用いる中で、今回のような形の備品については、購入なケースもあれば、最近ではリースといったケースもございます。

そういった中で、昨今の、今ほど委員おっしゃられました、インフレ傾向の中で、どういった形がより良い財政運営を目指せるのか。さらには、これから人口が減少している中で、どのような形で市を維持していくのかといったような形で、担当課だけではなくて、全体的な視点を持って、様々な施設管理、備品管理、市政運営のほうを図ってまいりたいというふうに考えております。

○加藤副委員長

今回、予算委員会の指摘も受けてですね、ちゃんとしっかりと状況判断して、もう1回精査する中で、本当、今回更新から修繕されたことについては、しっかりと検討された中で、その英断というかですね、しっかりとした対応をいただいておりますので、そういった計画ありきではなくて、やっぱり改善とか、判断修正できるところは、こういった形でしっかりと判断修正しながら、ベストな形を進めていただければと思います。意見です。

○宮島委員長

ほかに質疑ございませんか。

○古畑議長

委員長。

○宮島委員長

委員の質疑終結してから。

○古畑議長

えーとね、休憩中じゃないほうがいいんだ。

○宮島委員長

質疑終結して、その次に、休憩中に。

○古畑議長

休憩中じゃなくていきたいんだよ。

○宮島委員長

休憩中じゃなくてですか。

○古畑議長

うん。できるよな。

○磯貝事務局長

議長は発言できますので、このまま。

今回、特におっしゃりたいとのことですので。

○宮島委員長

分かりました。

では、古畑議長。

○古畑議長

すいませんでした、委員長。

最初ちょっと細かいことですがね。今回、その現場のほうへ視察に行くことは、あのとき営業されていた男の方にはちゃんと伝えてあったんですか。現場へちゃんと連絡してあったかどうか。

○飯塚主査

指定管理者を通じまして、本日9時5分から現地に伺うということをお伝えしていただくように伝えておりました。指定管理者からも、利用されている方に伝えましたということで、ご報告いただきました。

○古畑議長

ただね、厨房の中にまで入ってさ、視察するっていうのは伝わってなかったみたいだね。あれさ、自分だって怒りますよね、なんか急にきてさ、ドヤドヤって入ってこられたらさ、何なんでしょうかってなるよね。そこやっぱり担当課としてもさ、説明するときに途中でね、委員長の指摘で変わったけど、使用している第1じゃなくて、第2のほうなら、どうぞ見てもいいですよって、やっぱりその配慮がね、ちょっと足りないと思うんですよ。予算要求したのは自分たちの課じゃないっていうのは、やっぱり出ていますよね。降って湧いたような、取って付けたような、なんだろうな、組織改編によるさ、混乱というか、戸惑いがあると思うんですけどね。そこら辺の気持ちは分かるけど、その辺をもっと徹底して、視察するときの、やっぱり実際やって、営業していたのには、私もびっくりしましたがけど、そういうところの配慮ってしっかりすべきじゃないですかね。

○長崎課長

今ほど議長おっしゃるとおりでございます。担当課のほうで、指定管理者には伝えた、って言うんですけども、現状、厨房の方がおられて、やはりあの状況というか、戸惑いがあったというのも、私、目で確認しましたので、当然こういった視察やるときですね、最低限のそういった配慮というのが必要かと思imasので、やはり今後ですね、そういった行き違いってわけじゃないんですけども、厨房さんに迷惑かけないような形で、事前のやり取りを徹底して、現地対応へ臨みたいと思います。今回、申し訳ございませんでした。

○古畑議長

自分は知らなかったとはいえさ、営業中の厨房の中に、ドカドカ入って行ってさ、やっぱり不快感を与えてしまったの、本当に悪かったと思いますんで、本当に申し訳なかったとお伝えをいただきたいと思います。

それから、こっちのほうの話になるけど、突然の予算要求から、備品の修理のほうへ、修繕のほうへ、何か、舵が変わりましたよね。それでも、この委員会で指摘がなかったら、そのまんま300万円かけて、機器の入替えをやる予定だったんですか。計画どおりやる予定だったんですか。

○長崎課長

今回、皆様からご指摘をいただいてですね、こういう結論になったと思うんですけども。もし、こういうご指摘がなかったらっていうことになるかと思imasけども、ご指摘がなければ通ってですね、そのまま更新になったっていうことになったかと思われます。

○古畑議長

別に、長崎課長を責めているわけじゃなくて、よくぞこれ、かじ取りをしたと、300万円を全部オール新品なんて馬鹿な真似しなくてね。本当に良かったと思imasよ。

でね、これやっぱりさっき降って湧いたような話で、ちょっと担当が戸惑っているんじゃないかって言いましたよね。これ、今日いただいた資料を見ると、これさ、例えば、食洗機にしてみたって、4月6日、4月10日に修繕していますよね。この4月6日、4月10日ってのは、今年ですか、去年ですか。

○長崎課長

こちらのほうの修繕につきましては、ちょっと字が小さくて見にくかったんですけども、真ん中の上段に、令和7年度の修繕状況というふうにならってありまして、こちらの修繕状況につきましては、昨年、令和7年度に修繕した日時を明記してあるところでございます。令和6年度までは、修繕というのは、基本なかったとお聞きしております。

○古畑議長

その下の、5月27日、8月18日、庫内に水が溜まっている、修理代4万2,900円というのがある。これは、去年の話ですか。

○飯塚主査

こちらは、令和7年度、去年の話でございます。

○古畑議長

その下もそうですよね、冷蔵庫の②、ここにも修繕が4万2,900円。だけど、今回見に行くときの考え方としたら、やっぱり何だろう。水が溜まるだとか、何だとか、いろんなものにひびが入っていると、さびが出ているとかって、担当課のほうも現場を見て、これです、あれで

すって、こう説明してもらった。けどさ、これ見ると、みんな相当なお金を使って、オープンキッチンだってそうでしょう、設置メーカーで修理、製氷機か、8万6,438円、もう使っていますよね。なのに、まだ修理しなくちゃいけないっていうのはさ、どう考えてもおかしいんじゃないですか。

それからさ、修理したのに水溜りができているとか、水漏れが止まってないってことになったら、これさ、欠陥品でしょう。普通のお店なら絶対クレームですよ、お前何でもの売ってんだよって、修理代にいくらかけたと思ってんのこっちはとか、持って帰れってなりますよ。

あのね、これ飲食店もさ、みんな厳しいんで、まあ、かといってこういう調理器具にさ、お金を流ると、大変な目になるんで、多少高くても、メーカー品買うんですよ。だけど、メンテナンスをちゃんとやってくれないときには、やっぱり文句言わなきゃ駄目ですよ。これさ、やっぱり公だしね、市の持ちもんだしって、管理についてもさ、まだ使えるんじゃないかって、もう期限が切れたら、メーカーさん換えろって言っているから、もう換えちゃっていいんじゃないとか、そういうふうな観点で予算要求が上がってきて、現場から、財政課がさ、それをちゃんとチェックもせずに、上げてくること自体が怠慢じゃないですか。

あのね、1回、予算要求を上げて、見直して、こうやって今回何とか予算要求すべきじゃなかったっていうことをやると、1回やると、これから上がってくる予算全てをそういう目で見なくちゃいけない。今までも、スキー場でも、何でも、修繕費だっていうても、しょうがないなってことで通してきましたけど、いや実はまだ使えたんじゃないか、学校のいろんな配線だとか、そういうのだって、これもしかして使えたんじゃないのって、みんなメーカーだとか、ブランドの修理工場の言いなりになって、金出すんじゃないですかってなってきましたか。これ、何かっていうと、業者の予算要求に対する信用をなくした、ってことになるんですよ。大げさに取られるかもしれませんが、あなた方には、はした金かもしれませんが、一般の市民にとってみれば、とてもとても大きなお金ですよ。その責任をどのようにお考えですか。

○井川副市長

基本はですね、使える範囲は、しっかり修繕等して使いたいという考え方で進めておるところでございます。ただ一方、ギリギリになって、壊れてから取り替えてことでも、あの先ほど申し上げましたとおり、利用者さんに迷惑かける部分がありますんで、そこら辺のせめぎ合いが、本当に難しい部分だというふうに思っています。今、議長指摘されたとおり、そういった部分を、やっぱり予算審査特別委員会ですとか、例えば補正予算の段で、こちらからしっかり説明できないと、皆さんから納得いただけないというふうに思っていますので、まずは庁内で、財政課、それから担当課での判断をしっかりと踏まえた中で、皆様のほうにしっかり説明できるように、これからしてまいりたいと思っています。

今回、予算を備品から修繕のほうに流用っていう形でやらせていただくということに関しましては、もし責任ということであれば、これ事務方の私の責任ということでございます。

○古畑議長

あのですね、こちらのほうでは、修理済みで、もうお金払ってあるんでしょ。その去年か、今年の早い時期なんです。それなのに、また修繕費を上げてくるつもりなんです。二重修繕やるんですか。それとも、このときの修繕費は付けだったんで、このときに一括で払いますってことなんです。どうもあなた方の予算要求の仕方はさ、信用できませんね、これ、なんで修繕費払って、去年修繕したものに、また今年修繕費払って直すんですか。

○長崎課長

今ほどご指摘ありました修繕、昨年度もですね、この表のとおり、多くのところを修繕させていただいたところでございますけども、冷蔵庫とかシーリングして、こちらのほうは処置して収まったんですけど、今回、新たに点検といいますか、確認した中で、昨年度と違う箇所が修繕として出てきましたので、今回の修繕は、また新たにですね、ちょっと違うとこっていいですか、要は、今後の更新も考えて、そういったものを施して、少しでも器具を延命させて、先へ先へっていう形でやりたいということで、昨年とはまた違う箇所ですね、修繕ということで、ご理解のほうお願いしたいと思います。

○古畑議長

なぜかってね、あなた例えば除雪機だとかそういうものについては、大体の耐用年数だとかさ、この部品は取り替えなくちゃいけないとか、これは修理で直るとかっていうのは、全部お分かりになると思うんですよ。

ただね、こういう冷凍庫だとかそういうものにはさ、メーカー品はそれなりの耐久力ってのはあるんですよ、そんなしょっちゅう壊れて、そんなにしょっちゅうさ、修繕費なんか出していたら大変なもんですよ、一般の飲食店なら。これ、今年どのぐらいの修繕費を見込んでいますか。

で、ちょっとその前にね。こっちに今、修繕する前に修繕したやつ合計と、今年いくらぐらい、修繕費にける予定かお聞かせください。

○長崎課長

すいません。ちょっとお時間ください。お願いします。

○宮島委員長

暫時休憩します。

[休憩中]

○宮島委員長

休憩を解き、会議を再開いたします。

○長崎課長

お時間取らしていただき申し訳ございませんでした。

令和7年度、昨年度の修繕費が、合計で約20万4,000円でございます。今年ですね、今ほどお話あったとおり、点検させていただきまして、その点検費用が約14万円かかりました。

あと、今後の修繕ということで、先ほどお話あったんですけども、そういったパッキンの汚れとかですね、あと予防的な修繕なんですけども、今予定してるのは、約30万円ちょっといってますか、40万円弱ですか、になるところでございます。

○古畑議長

点検だけで14万円。それで、修理費が40万円弱だって。それ何、あれ分かるの、内訳。これ開いた口がふさがらない。

[「営業所遠いからって、高いっていうんじゃ困るんだよ。」と呼ぶ者あり]

交通費も入っているの。

○長崎課長

修繕費につきましては、今日見ていただいた厨房機器全て見ていただいて、各々にですね、

冷凍冷蔵庫の、例えばパッキンがいくらとかですね、あとコンデンサーの洗浄ですか、それを個々に出させていただいて、全てそういったものを合計した金額ということで、先ほど申し上げました30万円ちょっとという金額のほうを提示させていただいたところでございます。細かい内訳等も見積もりいただいたところでございます。

○宮島委員長

交通費は入っているんですか。

○長崎課長

交通費という表記は、特にないんですけども、諸経費ということでは明記されているんですけど、交通費という名目では見積もりに入っておりません。

○古畑議長

諸経費っていうのは、やっぱり気を付けてみないと何でもかんでも諸経費なんだよ。

で、今のやつ聞くと、契約時に、いわゆるアフターサービス、点検整備だとかっていうことの契約は取ってないと、結んでないってことなんでしょうか。

○飯塚主査

アフターサービスでの契約は結んでおりません。

○古畑議長

その場合だと高くなりますね。さっきさ、交通費は入っていませんっていうけど、多分出張費か何か出てくるよ。定期サービスの、定例サービスしない場合はさ、確かに壊れてからの対応になるんだけど、やっぱり割高になるんだよ。まあね、かといってアフターサービスも、そういう契約も高いからどっちが得かと言いにくいけど。

それにしても全体に高いね。点検だけで14万円だよ。普通、調子が悪いんだけど見てくれませんかかって、これやっぱり駄目ですね、直しましょうかっていうことで、点検料なんか取らないよね。ね、病院の健康診断であるまいしさあ。これ1回さ、メーカーも呼んで、徹底的に内訳全部やってくれと、議会のほうから非常に厳しく追及されたんで、答えられるようにしたいとか。今のこの部品だ、去年やって、なおさらやると、去年の時点で気付かなかったんですかって。いつまでも水漏れだとか、そういうものが直ってないってことになるとき、これ品物自体に問題があるんじゃないですかっていう指摘も受けたと。やっぱりこういうメーカーね、最初にきつくっていうか、脅せっていうんじゃないですよ。そうじゃなくて、ちゃんと話しておかないと向こうがやることをいいわ、いいわでやると、どんどん、どんどん向こうの言い値で跳ね上がっていきます。

でさ、本当に糸魚川市行政の予算から見ればさ、小さいことかもしれないけど、そういうところはしっかりやってくれないとね。やっぱり困ると思いますよ。そこね、しっかりやってもらいたいと思うんですが、どうでしょうかね。

○長崎課長

今ほど、議長からご指摘ありました。見積もり等も担当のほうにやってもらったんですけども、今日そういった形でご指摘も受けましたし、私のほうからもメーカーといいますか、今回の議会の指摘を受けて、指導といいますか、話をさせていただいて、やはり私どももちょっと甘く見られないように努める必要があるかと思っておりますので、今後やっぱり適切な維持修繕を進めるにあたって、私のほうからも一度話をさせていただいて、今後、誤解を招かれないように周知のほう努めてまいります。

○古畑議長

これで終わりますけどね。先ほども言いましたけど、長崎課長なら除雪機だとかそういういろんな工作機械についてはね、非常にうんちくもあるし、業者もさ、やっぱりごまかせないなと思ってくると思うんですよ。これやっぱり、こういう機器についてもさ、やっぱりちゃんと調べて詳しい人はやっぱり付けて、どうなんですか、その契約の仕方、サービスのあり方みたいなさ、やっぱりちゃんとやっていって欲しいと、強く要望して終わります。

○田原委員

今、いろんな課題が出ましたよね。それで市が所有しているところの施設で、ここは中心市街地活性化のほうですけども、まちなかの活性化であれ、なんであれ、人がそこに集って、飲食があって、それで皆さん喜ばれている、というところの施設っていうのは、市内にどんなところがあるのかなって、私は考えるんですけども。ほかのところは何か、これほどこう何か問題になっていないように思うんですけども。ね、このキターレに関しては、こういう形になったのかな、実験的なものになっちゃったのかなっていうふうに思っているんですけどね。

青海事務所の方が今日いないんで、なんですけど、青海の高架下に皆さん集ってね、お安くご飯食べられて喜ばれているよ、井川副市長も、おそらくそこ大好きなんじゃないかと思うんですけど、そういったとこって、今回みたいなこうあれですか、問題みたいなものって出てこなかったんじゃないすか。それとも頻繁にあれです、機器を入れ替えたりしてやってきました。

井川さん分かるでしょう。

○猪又政策監

私のほうも以前、青海事務所におりまして、またほっこり館と、そういった人員等々につきましても、関わってきておりますが、田原委員の言われるような、なんていうんですか、しつかり、失礼しました、私ども要求時にはですね、やっぱり原点に帰って、今、私も見直すということにしておりますけども、そういった見方でしつかりと機器を延命をする、また、緊急時の対応であれば、緊急時の対応ということで、事業者の方々、また市民の方々に影響が出ないように対応していくというところが現実であります。

従いまして、ちょっと私ども古畑議長のほうからもですね、逆に励ましの言葉というか、いただきましたけど、この今回のキターレの件につきましては、少しそういった手続き的なところがですね、少し勇み足なところもあったかなというふうに思っております。

財政課にもおりました。私ども財政課としては、先ほどもありましたけども、大変厳しい目で見てきているというところでございます。その中で、今回そういった部分、いろいろキターレっていう施設の性格っていうところもあったかと思いたすんですけども、先ほど、嶋田政策監からも答弁いたしましたとおり、全体的なそういった施設管理、そういった維持修繕につきましては、今後予算の開示前だとかそういったときに、庶務担当など、いろんな場面を持って、しつかりと周知をしていきたいというふうに考えておりますので、よろしくお願いいたします。

○田原委員

この機会に、ちょっと意見を言わせていただきますけど、キターレもう1回見直したほうがいいですよ。指定管理のあり方も含めて。何が悪いってわけじゃないかもしれませんが、あそこにね、非常に期待したんだけど、設備投資が、今となってみれば過大だったのかなと、チャレンジするためにね、三つのキッチンとオープンカウンターでしょ。素晴らしいですよ。あそこを使って、どんどん独立して行って、あの近くにお店がね、年に一つでも二つでも増えてい

きますっていう話だったから、じゃあやりましょうかって言ってやったけど、実際、そうもなっていないのかな。「糸と糸」さん頑張っていて、素晴らしいお店になって、それは良かったし、キターレがなければ、そういう流れにならなかったとも言えるかもしれないけど、ただこの先ね、ずっと修繕費だとか、更新だとかにお金がかかっていくことを考えれば、やっぱりキターレ造ったときの目的から、その費用対効果を考えてですね、ちょっと見直しをすべきだし、指定管理の期限も今年度末で終わりで、また次で更新にするのか、新たにまた募集するのかっていうところに来ているけど、やっぱり指定管理を受けた方そのものが、意識がないと、またこういうことにもなっていくわけだと思うんですね。

以上、意見で終わりますが、委員長、今日、ここの、その他でいいんです。全部終わった後でいいんですけど、このキターレのですね、指定管理のあり方について、私ちょっと皆様にお話したいことがあるんで、終わった後、その他でお願いをしたいと思います。

○宮島委員長

ほかご質疑ございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○宮島委員長

ご質疑なしと認め、これにて質疑を終結いたします。

暫時休憩いたします。

[休憩中]

○宮島委員長

休憩を解き、会議を再開いたします。

以上で、糸魚川市駅北広場「キターレ」備品調査についてを終結いたします。

以上で、協議題１、中心市街地活性化について、所管事項調査を終わります。

暫時休憩いたします。

＜その他＞

（１）市外調査について

○宮島委員長

それでは、休憩を解き、会議を再開いたします。

次に、協議題２、その他、市外調査についてを議題といたします。

市外調査に関する資料が、お手元あるいはタブレットに配られていると思いますが、ご覧いただいていますでしょうか。

建設産業常任委員会の市外調査、例年、秋に行われていると思いますけれども、今のうちから、視察地を検討し始めないと、なかなか受け入れが厳しいという状況があります。資料にはですね、平成16年度からの過去の市外調査の一覧が書かれております。昨年は、福井県勝山市と石川県津幡町で、記載の視察を行っております。今年度、いろんな建産関係の案件があるかと思いますが、委員の皆様から、ぜひこんな場所、こんなテーマで視察したらどうか、というようなことを、積極的に正副委員長にご提言いただきたいと思います。

調査票は、添付されていると思いますけれども、できれば７月から８月中にですね、相手もあることですから、相手先との交渉をさせていただきたいと考えています。つきましては、調査票を、ちょっと日程的に短いんですが、６月８日月曜日までに、議会事務局までご提出をお願いします。紙のままでも結構ですし、ＬｏＧｏチャットとかメールでも結構です。ぜひお願いいたします。これ、投げかけだけですので、皆様のご希望を確認した上で、視察先や内容を正副委員長あるいは事務局と調整していきたいと思います。

この件について、何かご質問ありますでしょうか。

○田原委員

委員長ありがとうございます。

過去の視察先も出していただきまして、大変勉強になりました。ただ、見に行って、帰ってきて、報告はしたけども、糸魚川の中で実現していないものもあるし、デマンド交通とか、いろいろとありますよね。そういったところを、この後もですね、見に行ったところで、じゃあどうなるのよといったところ、私、正直心配もしているわけなんです。どこに行っても、学ぶものがありますし、糸魚川市のためにもなるんですけども、何か、委員長、副委員長のほうでですね、やはり当委員会の所管するところでは、これが一番の課題じゃないかと、その課題解決に当たるために、ここはぜひ行って、残されたこの建設産業常任委員会の任期の中で、ちょっと集中的にやってみるとかですね、そういった対応も委員会としては必要なのではないかと、というのが私の思うところなんですけども、いかがですか。

○宮島委員長

委員長の私見ですが、過去の視察先見ても、かなり重複している内容がございますよね。即効性のあるテーマで、すぐに糸魚川市の取組に反映できるものもありますし、なかなか即効性がないやつもありますよね。議会の視察って、即効性あるばかりではないんじゃないかと、議員活動として任期トータル４年ありますけど、４年間の間で、学んだことを市政に反映できればいいんじゃないかなと思っています。

ですから、田原委員が、ご質問、ご指摘の件も、もちろん重要な点ですけども、目の前のものだけを考えなくてもいいのかなというのは、委員長の個人的な見解ですが、感じております。私も行政にいたときも、いろんなテーマで視察させていただいていますけど、今、役に立

っているものもあるんじゃないかなと思っています。だから、そのとき役に立ったものもあるかと思います。私の見解です。

○田原委員

休憩取らないで発言をしていますけども、それだけ私ね、課題解決に、委員会として当たっていくっていう姿勢、それから具体的に協議していく時間というのは必要だと思うんですよ。

行政側から資料を出してもらって、説明を受けて、何かご意見ございますかということも、もちろん大事ですけども、委員会の中でテーマを持って、もうちょっと絞り込んで、市民生活に結びつくことを、ですよ。それから先ほど、話しましたが、観光。資源は、たくさんあるけども、本当に生かされているのかといったところの話ですとか、そういったところに、くっつけた話、それと、新幹線の利用と、それから大糸線とかね。こういったことも、とても大事なテーマだと思うんですよ。沿線の議会で意見交換をしましょうとか、講師の話を聞きましょう、それもいいけど、もうそろっと、そういうことから抜け出していけないと、議員、議会って、何やっているんですかね、っていうふうに、やっぱり私、市民から見られるような気もいたしますので、みんなで課題出しをして、頑張ってまいりましょう。

○宮島委員長

ありがとうございます。

市外調査の希望調査の中で、今、田原委員がおっしゃったように、なぜこのテーマでここを見る必要があるのかということを書きいただくと、正副委員長も検討しやすいかと思いますので、なるべく具体的に、目的がどういう効果があるのか、そういったことを書いていただくとありがたいと思います。

ほかに、委員の皆様から何かございますか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○宮島委員長

以上で、市外調査について、を終結いたします。

ほかに、その他で、委員の皆様から何かございますか。

○田原委員

今日、ちょっと委員会の中でしたけども、少し触れましたが、キターレの指定管理についてということです。これは本来であれば、所管事項等でやらなければいけないことですので、このその他の中では、休憩としていただきまして、ちょっと私の投げかけを、皆さんに聞いていただいた上で、ご意見をいただくというふうにさせていただくとありがたいんですけど、いかがでしょうか。

○宮島委員長

今日、キターレの備品について、かなり深い議論があったかと思います。備品の更新については、かなり問題もあったということが、わかったと思います。それで、田原委員からも、その指定管理のあり方、あるいはキッチンですか、キッチンなんかの費用対効果といったものもありましたので、建産のテーマとしては、かなり重要なものではないかというふうに、私個人は思います。

ただですね、指定管理やっているところは、キターレだけじゃありませんよね。他にも、例えば、親不知の諸施設とか、ここでもいろんな、冷蔵庫なんかもありますし、そういったものも広く見渡した上で、建産としての所管事項調査になるようなテーマを、見出したらどうかな

と。ですから、委員の方も、キターレ、今日、田原委員が重要だとおっしゃっています。皆さんもぜひ、他の施設も、ちょっと見渡してみて、これも含めたほうがいいんじゃないかということがありましたら、ぜひ正副委員長にご提言いただきたいと思います。

○古畑議長

あのね、なるべくさ、みんなで協議するときは協議題として、より具体的に、まず挙げることだね。それから今言う、緊急動議みたいな形でさ、自分の考えの思いを言いたっていうのがあって、よっぽどその内容によってはさ、特にキターレは、もう先にやっちゃっていることなんで、同じ会議の中でもう1回やると、一時不再議は駄目なんだよって、その辺のこともよく考えて、進めていかないと難しくなりますよ。所管だから、何でもかんでも言ってもいいっていうことになってくると、会議としての收拾がつかなくなってしまうんで、そこは委員長としても、十分、お考えの上進めていただきたいと思います。

○宮島委員長

田原委員がおっしゃったのは、今日の。

○田原委員

休憩にして。

○宮島委員長

暫時休憩します。どうぞ。

[休憩中]

○宮島委員長

休憩を解き、会議を再開いたします。

ほかに、その他で、委員の皆様からございますか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○宮島委員長

以上で、協議題2、その他、を終結いたします。

○宮島委員長

以上をもちまして、予定をしておりました日程が全て終了いたしました。

本日の調査に関する委員長の報告は、口頭報告とし、文案につきましては正副委員長にご一任願いたいと思いますが、ご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○宮島委員長

ご異議なしと認め、そのように決しました。

以上で、建設産業常任委員会を散会いたします。

大変お疲れ様でした。

糸魚川市議会委員会条例第29条の規定により署名する。

委員長